



南方神社再建に向け 地域一丸

10月15日(土)、横瀬の南方神社において、お酒をお神酒にする神事がおこなわれ、大丸小学校の児童20名と地域の方が参加し、玉串を捧げました。

神社は江戸時代に建設され、長年参拝されてきましたが、老朽化が進み倒壊の危険性があり、住民有志による同神社建設実行委員会を発足し、社殿と鳥居を再建することになりました。お神酒となる焼酎は新平酒造からの提供で、ラベルには同校低学年の児童が押した手形がデザインされています。寄付者へのお礼にお神酒を届ける予定です。

実行委員長の諸木逸郎さんは「再建し、地域の方が集う新しいコミュニティーを作っていきたいです」と話されました。



南葛SCが表敬訪問

関東サッカーリーグ1部所属のサッカークラブ「南葛SC」の稲本潤一選手(鹿児島県生まれ/元日本代表)、赤崎秀平選手(いちき串木野市出身/元ユニバーシアード日本代表)、川俣慎一郎選手(元U-20日本代表)が、10月14日(金)、東町長を表敬訪問しました。

同チームは、志布志市で10月14日から6日間開催された「第58回全国社会人サッカー選手権大会」に出場し、大崎町中央運動公園を練習会場として使用しました。

副キャプテンの川俣選手は「普段は人工芝で練習をしているので、今回天然芝で練習させていただき嬉しいです。昇格して大崎町の方にも喜んでもらえるように頑張ります」と話されました。



ご長寿のお祝いに長寿祝金を贈呈しました

長年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者を敬愛し長寿を祝う「敬老の日」を記念し、令和4年度中に100歳になられる方々に対し表敬訪問をおこない、長寿祝金と記念品を贈呈しました。

また、9月末現在で90歳、88歳及び80歳の方々を対象に、地区民生員を通じて長寿祝金を贈呈しました。

※写真は在宅の希望者のみ掲載しています。

今年度の対象者数			
80歳	158名	88歳	98名
90歳	85名	100歳	11名
最高齢者(106歳)			1名